

## 加古川市人口ビジョン（骨子案）及び加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案） に関するパブリックコメントの実施結果について

加古川市人口ビジョン（骨子案）及び加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案）について、パブリックコメント（意見募集）を実施しました。

お寄せいただいたご意見の概要については、下記のとおりです。

### 記

#### 1 募集期間

平成27年8月28日（金）～平成27年9月28日（月）

#### 2 意見募集資料の配架場所

市役所市民ロビー、政策企画課、各市民センター、各公民館、東加古川市民総合サービスプラザ又は市ホームページ

#### 3 応募方法

政策企画課へ持参、郵送、ファックス、電子メール又は各施設に設置している意見箱に投函

#### 4 意見募集の結果

(1) 意見提出人数 8人

##### 【内訳】

- ① 持参 ————— 2人
- ② 電子メール ————— 2人
- ③ 市役所市民ロビー ——— 2人
- ④ 野口市民センター ——— 1人
- ⑤ 別府市民センター ——— 1人

(2) 意見項目総数 22件

##### 【内訳】

- ① 加古川市人口ビジョンの骨子 ————— 2件
- ② 加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子・全体像 ————— 19件
  - ・基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（8件）
  - ・基本目標2 暮らしの安全・安心を守るとともに、地域と地域を連携する（6件）
  - ・基本目標3 地域への新しい人の流れをつくる（2件）
  - ・基本目標4 地域における安定した雇用を創出する（3件）
- ③ 加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディング・プロジェクト ——— 1件

加古川市人口ビジョン(骨子案)及び加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子案)に関するパブリックコメントの実施結果について

意見内容	項目
<p>1 加古川市人口ビジョンの骨子 2060年(平成60年)までのビジョンがとても明瞭簡単でわかりやすくよかったです。 私も、120才まで、がんばって海外へ行きますね。 とりあえず、9月の4～5日間のお休みを今、どう過ごそうか? 思案中です。 もし、どこかでお会いしたらよろしくお願ひ致します。</p>	人口ビジョン
<p>2 人口推計の考え方 日本創生会議のエッセイによれば若年女性20～39歳の加古川市の人口は、2010年で33,739人が2040年に20,811人となる推計を伝えている。38.3%の減となる。 1、この先行きに対する情報を市民に広報で伝えるべき。 2、市予算配分を若年層へ移動すべき。EX出産費の無料化</p>	人口ビジョン
<p>3 キャッチフレーズ(抽象的)で具体性に欠ける。 基本目標1に対して ①制度の確立～予算的に政策として実施すべき。 ②支援でなく優遇として実施すべき。</p>	基本目標1
<p>4 基本目標4に対して ①第1次産業の再生～起業よりも伝統的に継続重視。 ②地産地消の制度的優遇。</p>	基本目標4
<p>5 リーディングプロジェクトについて 前回の総合計画策定基礎(H21年3月発行)181ページ人口推計で尾上町だけが右肩上がり。人口増がある尾上町の海岸近くに計画されていた、尾上公園が昨年棚上げ発表。今年3月公表された。近くにある浜の宮公園は乳幼児は危険でとても行けない現状。浜手はとり残されている感じがしている。 人口ビジョンを考える上で言ってることとやっていることの違いに憤然とする。</p>	リーディングプロジェクト
<p>6 加古川市まち・ひと・しごと総合戦略 基本目標2(1)安全・安心なまちをつくる ①追加項目として「防犯カメラの設置拡大」を望みます。 追加項目として「シニア運転者の交通安全運転教育の拡充」を望みます。 シニアといっても特に高齢者の方です。</p>	基本目標2
<p>7 基本目標1「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 (1)①の放課後こども教室事業は拡充されるのでしょうか。充実している学校がある反面、ボランティアの数が足りないところもあり、存続が懸念されると聞いています。</p>	基本目標1
<p>8 基本目標1「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 (2)の①保育環境の整備では、「良質な就学前教育の実施」を入れるべきではないでしょうか。 このことは、子ども政策課が現在検討中だと思います。</p>	基本目標1

	意見内容	項目
9	<p>基本目標1「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」  (3) 魅力的な教育環境を整備するには、外国語教育や国際理解といった文言ばかりが並び、違和感があります。学力向上の取り組みや思いやりの心を育てる教育などを盛り込んではどうでしょうか。また◎地域における国際理解教育の推進の内容がよくわかりません。  「子育て日本一」「教育日本一」なら、加古川市の子どもが公立の学校で学んで、東大を目指せるような教育環境を整える、という文言はいかがでしょうか。(明石市の受け売りですが)</p>	基本目標1
10	<p>基本目標1「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」  (5) の②妊娠・出産の不安解消は、助成だけでなく、妊娠期からの相談窓口として、「加古川版ネウボラ」を提案します。</p>	基本目標1
11	<p>基本目標2「暮らしの安全・安心を守ると共に、地域と地域を連携する」  (2)の①のスポーツネットワーク委員会の活動支援という文言はこの委員会に限定しているようで違和感があります。例えば、スポーツフェスティバルなど、市民がスポーツに親しむ機会を増やすというような文言はどうでしょうか。  ②の◎小児救急電話相談の拡充は新たな取り組みでしょうか？○ではないのでしょうか。</p>	基本目標2
12	<p>基本目標2「暮らしの安全・安心を守ると共に、地域と地域を連携する」  (3)の②市民活動バックアップ補助金の拡充となっておりますが、現在の方法には疑問を感じています。鯖江市の「提案型市民主役事業化制度」あるいは、我孫子市の「提案型公共サービス民営化」、近隣では尼崎市が取り入れている「市民提案型事業」など、真に市民福祉を担う団体が継続して事業を行えるような形が望ましいと思います。</p>	基本目標2
13	<p>加古川市まち・ひと・仕事創生総合戦略の骨子・全体像(以下、骨子・全体像)の基本目標1の(2)の子育ての町としての魅力を高めるについて、待機児童解消とあり、加古川市まち・ひと・仕事創生総合戦略のリーディングプロジェクト(以下、プロジェクト)に特色ある魅力的な子育て・教育環境の整備促進に民間事業者による保育所とあります。  この民間事業者による保育所とは、無認可ではなく認可されたものであると期待しますが、これまで加古川市の窓口では、無認可の保育園の案内をされることがよくありました。  最近、他府県の事例ではありますが、無認可の保育所でのトラブルが多いので、子ども達がよい環境で保育が受けられるような整備を期待します。</p>	基本目標1
14	<p>骨子・全体像の基本目標2に地域循環バスやデマンド型かこタクシーとあり、プロジェクトのまずはやってみますプロジェクトのところには、交通不便地域の解消とありますが、これは現在公共交通機関がないところにも整備をしていくという解釈でよろしいでしょうか？市内交流の促進は大切ですが、80歳90歳になっても車の運転をしなければ生活ができない地域が北部エリアにはたくさんあります。不幸な事故を防ぐためにも、積極的な取り組みをお願いします。</p>	基本目標2
15	<p>骨子・全体像の基本目標4に安定した雇用とありますが、企業誘致は長い期間をかけてしなければならず、逆にその企業に頼った取り組みを進めていくと、その企業がなくなった場合に、市に危機が訪れることを危惧します。企業誘致というより、住みやすいベッドタウン加古川市でよいのではないのでしょうか？</p>	基本目標4

意見内容	項目
<p>16 骨子・全体像の基本目標3の(4)③の移住定住帰住希望者への支援とあり、プロジェクトには、交通利便性の良さを生かした宅地開発を誘導とあります。また、骨子・全体像の基本目標3に河川敷にバーベQサイトをとあります。</p> <p>これらは、開発や新たな設置になると思うのですが、市街化調整区域での住宅建設要件の緩和や、交通不便地域の解消をするなど、既存のものを生かす試みが少ない印象をうけます。特に河川敷は、毎年のように浸水するなど、災害の度に対策が必要になると予想され、プロジェクトの面にも記載がありますが、河川敷でなくても見土呂フルーツパークや権現総合公園の活用をする等、新たな取り組みより既存の良い物を生かすことが重要ではないでしょうか。</p> <p>これは、加古川市の政策に共通した課題だと感じています。例えば、加古川市には名刹や古墳など、貴重なものがたくさんあります。これらを生かすことは、地味なことでは華やかではないかもしれませんが、今あるものを大切に育む心を持つ人が多くなれば、住みやすいまち加古川市につながると感じます。</p>	基本目標3
<p>17 基本目標4(4) 起業一創業支援の活動をしていることの広報を活発にする。 入口を広くして欲しい。</p>	基本目標4
<p>18 基本目標1(2)子育ての町の魅力 弱いものをいじめないは口で云ってもわからない！ 今、加古川では動物の虐待、惨殺事件が多くあります。 いつも犯人は捕まらず、アニマルポリスのある兵庫県下でありながら恥ずかしい限りです。 小動物への虐待は命を軽んじ、弱者をいじめる子供達のいじめの構造と似たものがあります。 小学校の学校飼育動物の環境が荒れた所は、その子供達の進学中学も荒む傾向にある様です。 弱者である飼育動物の飼育動物の死を悼み、恐れる事で、逆に生を尊び、命を大事にする事を学べると思います。 「うさぎ」「ニワトリ」は学校飼育に向きません、もっとふさわしい動物を選び、学校全体でその命を守る積極的飼育を取り入れて欲しいです。 子供達は見ています。弱者を守ろう、命を大事にと云いながら弱い立場の動物の世話をないがしろにし、多くの動物を放置し、死なせておきながらその死も悼まず適当に埋めています。そこから何を学ぶでしょうか。</p>	基本目標1
<p>19 基本目標2(1)安全、安心(3)豊かさの実感 いくらパトロールをしても住民が法を犯しては何の意味もない。住民のモラルや質の向上の為に[もう一人の家族(ペット)と終生暮らす]をスローガンに動物虐待ゼロの地域を目指す。 動物を使った犯罪者の更生プログラムがある様に弱者への思いやりの気持ちを学ぶ事が、犯罪をへらす事に繋がると思う、加古川は空家が多いのも大きな問題なので、市の先導で、ペット可の住宅を増やし、飼主のモラル向上教室等も同じに行う。捨てる飼主に対して罰則を強化し、アニマルポリス1号の兵庫県らしさを打ち出して行く。地域猫を救済し、いずれはゼロへとしたい。</p>	基本目標2

意見内容	項目
<p>「加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子・全体像」のページの基本目標 1  (2) 子育てのまちとしての魅力を高める②子育て環境の魅力アップ</p> <p>市立幼・小・中学校PTAは、社会教育法上、社会教区関係団体に当たり、従って任意加入の団体です。しかし、現状、強制入会の形をとり、もし役員になってしまったら不本意な苦役を担わされることもあります。であるので、長年、役の押し付け合いが見受けられる役員選出であったりします。また、保護者同士の軋轢も見受けられます。夜の会議にやむなく子どもだけ家に残し、家庭内事故の可能性を高めたり、子どもに寂しい思いをさせています。</p> <p>現状のPTAは、子育て環境に悪影響を及ぼしています。一人親や要介護の人が家族にいる人、心身に病を持つ人など、PTA弱者であっても関わりやすい・人に優しいPTAに生まれ変わると、子育て環境の魅力アップになり、人口も増えると思います。</p> <p>そのためには、まずはPTAの本来の姿（任意加入）を周知し、できる人ができる時にできることをできる範囲でという真のボランティア活動となるように事業仕分けをしてもらいたいと考えます。</p> <p>情けない話ですが、PTAの重役に付かないよう、親自身が目立たないように自分らしさを押し殺しておとなしくしていた方がよいという空気もあります。また、役の重さを天秤にかけ、楽な役についてノルマを果たそうという空気もあります。学校と密接に関係のある団体であるのに子どもに示しがつきません。PTAの役のためにパートを休んだらクビになったという話も聞いています。市民の子育て環境や暮らしを守るPTAであってほしいと切に願います。横浜市PTA連合会が、PTAの任意制についてわかりやすいスライドを作り、ネットで一般に公開しています。加古川市もぜひ、横浜市にならってほしいものです。</p>	<p>基本目標 1</p>

意見内容	項目
<p>「加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子・全体像」のページの基本目標3①空き家・空き店舗の解消</p> <p>・空き店舗の固定資産税を軽減し、「まちの寺子屋」事業のような児童の放課後の居場所作りにする。</p> <p>・空き家を市の責任で解体、更地にし、児童公園にする。</p> <p>子どもが徒歩で行ける広い公園が市内には少ない。しっかり外遊びすることで健全な心身の発達が可能である。安易に太陽光パネルやコンビニを建設しないでほしい。声なき子どもの声をしっかり聴き、遊ぶ場所の確保を大人がしていかなければならない。遊ぶ時間・場所・仲間・遊び内容を大人が確保せざるを得ない時代。そうしないと遊び不足で大人になってしまうと、栄養不足が体に支障をきたすように、心身健全に育たない。骨・筋力のもろさ、しなやかさにかける、社会性が乏しい、勝負勘などが育たない。スポーツやピアノ等をさせる前に日本の伝統的な遊びを子どもにしっかり楽しませてあげることがふるさとを愛する心に育つ。また、地域（自治会）の大人のあたたかい眼差し、言葉かけがあると、ふるさとを愛する心に育つ。自治会に子どものための行事をなくさないように祭、バス旅行、レクリエーション。</p> <p>・日本古来から伝わる昔遊びを地域の高齢者が子どもに伝える。伝統の継承。日本の遊び文化の素晴らしさを世界に誇れる大人に育てていくように。自治会、加古川市、日本をふるさととして愛着心を育てると世界の人に日本の良きものをアピールできる。古民家、空き店舗を利用して昔遊びを高齢者が子どもに教えてあげる。高齢の方の生きがい創出。子どもたちは高齢の方への尊敬の念が生まれる。場所は既存のコンビニを改造して、「地域交流スペース」としてもよいと考える。</p> <p>21 高齢の方の体力低下予防に昔遊びに昔遊びを子どもに伝えることがよいのではと考える。他に自身の生まれ育った過程や地域の昔の様子、昭和初期の話、人生訓など、子どもたちに伝授してくれたらありがたい。核家族では家庭教育に限界があるので。地域のわらべうた、民謡、昔遊びの保存をお願いしたい。知恵、知識、歴史、思いやり満載の貴重な世界文化遺産です。</p> <p>「ふるきを温めて新しきを知る」定年後も自分の役割があると思える地域になるように。（無理がない程度が第一。）例えば、児童の登下校の見守り、未就園児と保護者との交流、地域の公園で子どもと遊ぶ、話し相手をする、宿題を見てやる、昔話をする、自治会内の清掃、毎朝のラジオ体操。自治会役員では負担が大きすぎる役割を手の空いている人に分担する。</p> <p>「地域大家族」と考えてはどうか。一つの家庭では構成人員が10人以上はあまりない。昨今は独居も多い。</p> <p>地域にはたくさんの兄弟姉妹、父、母、子どもがいると考えてはどうか。中には相性の合わない人もいるだろうが、それぞれ個室（家）があるので、自分の気持ちに添って個室に帰り、けんかしない距離を保てばよいと思う。</p> <p>平和な時間は大切だが、何も困り事がないと誰とも交流、会話をしなくても生きていける状態。昔は井戸で水を汲み、また銭湯に行って会話が自然とはずんだであろうが、今は誰とも交流せずとも水が使える、入浴もでき、買い物もできる。平和で便利なのかもしれないが、人が長時間誰とも交流しないで過ごすのは本当に幸せなのだろうか。平和的な地域交流を市民が考え、地域で実践していくと、現代に合った望ましい暮らしが見えてきそうだと思う。グランドゴルフ、カラオケ等、同じ仲間にとどまらず、心の間口を広げてほしいと思う。</p>	<p>基本目標 3</p>

意見内容	項目
<p>「加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子・全体像」のページの基本目標2 (2) 生き生きと暮らせる健康社会をつくる</p> <p>赤ちゃんからお年寄りまで防ぐことができる病気や体力低下に留意し、心身共に一人一人が健康に暮らせるようなまちづくりの提案をしたい。前ページと重複する点はご容赦ください。</p> <p>リタイヤした大人や子育てに一段落した大人が、若い親子の育児のサポートや見守りをする。いわば、「子育てのワークシェアリング」。人の遺伝子記憶が喜ぶ懐かしい日本の(地域の)わらべうた、民謡、昔遊び(電気不使用)を用いて交流する。人と人との間には話題や物(人)がないと会話がはずまない。交流できない。わらべうた、民謡、昔遊び(電気不使用)のものは、声を出し、適度に体を動かし、人と人との間で楽しめ、文化継承にもなり、ふるさと愛が育つ、優れものである。しかし、わらべうた、民謡、昔遊び(電気不使用)は、絶滅危惧状態。神戸、大阪、姫路に張り合うより、加古川に帰れば命の充電ができる、空気や水がおいしい、人々がやさしい、永住にぴったりという街づくりを期待する。</p> <p>今年(2015年)の6月か7月だったろうか、NHKニュースウォッチ9で昭和40年代(?)にベッドタウンとして開発されたまち2つを比較した内容があった。ひとつは、関東の東京より少し東の県のあるA市(忘れまし)、もうひとつは、加古川市でした。A市は、出生率が上がっているそうです。その理由は、子育て世代が住宅を購入する際の金額的な免除か補助があるという点と若い世代が住む住宅地の近くに子ども同士、親同士が交流しやすい公園が近くにあるという点でした。</p> <p>一方、時期に開発された加古川市は、空き家になって草が伸び放題の映像が出ていました。A市を視察に行った加古川商工会議所の会長(?)が感想をインタビューされていました。</p> <p>加古川市はよく「都会でもなく、田舎でもない、中途半端なまち」と言われます。しかし、私は、都会になろうと頑張るのではなく、神戸、姫路に近くて交通の便がよい、しかも小高い山や川があって、自然が残る住みやすいまちとしてアピールすればよいと思います。</p> <p>人間は一人一人にそれぞれ役割があり、その存在はかけがえのないものとよく言われるように、日本の中での加古川市の立ち位置も同様に再認識し、日本の中でかけがえのないまちとなってほしいと願います。つまり、子育てしやすく、高齢になっても住みやすいまち、高齢者にも可能な役割を与えて、生きがいを持てるまちになってほしいと思います。手段としては、高齢の方が保育園、幼稚園、小学校に度々出向いて、昔の話や他の昔遊びをする。公民館を無料または安く提供してもらって、地域交流の拠点にする。昔遊びを高齢の方はよくご存じで、子どもに伝えやすい。お菓子のお土産付きにすると子どもたちは集まってくる。保・幼・小・中学校の運動会、音楽会などに地域の高齢者を招待する。中学校の音楽会は何と空席の多いこと!曲目はできれば昭和以前のものを。保・幼・小・中学校の除草作業、大掃除に地域の高齢者の手をお借りする。校内でランチタイムを共有する。高齢の方に青春を再び!学校で授業を受けられる機会を。若者と交流し、元気になられると、高齢者医療費削減が期待される。</p> <p>別件です。朝日デジタル(ネット)「どうする?自治会、町内会」まちづくりの参考になると思います。町内会、PTAを改善すると、住みやすいまちになると思います。</p>	<p>基本目標2</p>